



平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月13日

上場会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス 上場取引所 大(JASDAQグロース)  
 コード番号 7777 URL http://www.3d-matrix.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 新井 友行 (TEL) 03(3511)3440  
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	0	△100.0	△452	—	△457	—	△458	—
24年4月期第2四半期	400	—	58	—	9	—	8	—

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 △457百万円(—%) 24年4月期第2四半期 10百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	△49.77	—
24年4月期第2四半期	1.12	1.06

(注) 当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では、当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第2四半期	2,672	2,465	91.3
24年4月期	3,054	2,887	93.9

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 2,440百万円 24年4月期 2,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,491	125.0	589	66.4	583	88.4	529	71.5	57.47

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期2Q	9,239,200株	24年4月期	9,177,600株
② 期末自己株式数	25年4月期2Q	56株	24年4月期	56株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期2Q	9,208,261株	24年4月期2Q	7,652,717株

(注) 当社は、平成24年9月1日付で株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題が収束しないことに加え、中国経済の減速傾向も鮮明になり、不確実性はいつそう高まりました。

また国内経済も、世界経済の減速等を背景として弱めの動きで推移し、さらに尖閣諸島をめぐる日中関係の悪化等、新たなリスクも浮上しました。

このような状況のもと、当社グループは主要技術である自己組織化ペプチド技術による医療製品の開発に引き続き注力しております。

第1パイプラインの吸収性局所止血材(TDM-621)については、製造販売承認申請に係る、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)による審査が継続しております。またTDM-621の製品製造に関して、製品化に向けた生産体制の整備の最終段階を迎えております。さらに、扶桑薬品工業株式会社(以下「扶桑」という。)と科研製薬株式会社(以下「科研」という。)との間の平成24年4月9日付の基本合意に基づき、平成24年9月25日付で、扶桑が科研にTDM-621の販売を許諾する準独占的販売権許諾契約が締結されました。

第2パイプラインの歯槽骨再建材(TDM-711)については、当社米国子会社にて、平成24年2月から臨床試験を実施しており、プロトコルで規定した15症例の施術が完了し、経過観察の実施中であり、今後、それらの結果をもとに米国食品医薬品局(FDA)と次の段階の協議を開始いたします。

また、上記に続くパイプラインとして研究開発を推進している粘膜隆起材(TDM-641)については、当連結会計期間中の臨床試験の開始に向けた準備を進めております。

そして、グローバルな事業展開に向けては、アジア地域における提携先との関係強化および止血材等の医療製品事業の展開を目的として、平成24年10月に、シンガポール共和国に当社100%出資の連結子会社「3-D Matrix Asia Pte.Ltd.」を新たに設立いたしました。本子会社を中心としたアジア地域での研究開発・事業開発を進めてまいります。

② 経営成績

当第2四半期連結累計期間の事業収益は一千円(前年同四半期比400,000千円減少)、経常損失457,904千円(前年同四半期は経常利益9,042千円)、四半期純損失458,273千円(前年同四半期は四半期純利益8,566千円)となりました。また、いずれも当初の事業計画より大きな乖離は生じておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における総資産は2,672,557千円(前連結会計年度末比382,291千円の減少)となりました。

流動資産につきましては、2,129,734千円(同371,046千円の減少)となりました。これは主に、たな卸資産の増加112,673千円があるものの、売掛金の減少532,297千円によるものです。

固定資産につきましては、542,822千円(同11,245千円の減少)となりました。これは主に、本社増床等による有形固定資産の増加13,925千円及び投資その他の資産に含まれる長期前払費用の増加8,711千円があるものの、無形固定資産であるのれん償却額による減少35,000千円によるものです。

負債につきましては、206,842千円(同39,903千円の増加)となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております未払消費税等の減少32,601千円があるものの、未払金の増加29,794千円、未

払費用の増加20,874千円及び前受金の増加32,000千円によるものです。

純資産の部につきましては、2,465,715千円(同422,195千円の減少)となりました。これは主に四半期純損失による利益剰余金の減少458,273千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月13日に発表いたしました平成25年4月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,757,900	1,806,969
売掛金	532,297	—
たな卸資産	25,102	137,775
その他	185,480	184,989
流動資産合計	2,500,781	2,129,734
固定資産		
有形固定資産	87,680	101,605
無形固定資産		
のれん	396,668	361,668
その他	40,154	38,885
無形固定資産合計	436,823	400,553
投資その他の資産	29,564	40,663
固定資産合計	554,067	542,822
資産合計	3,054,849	2,672,557
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	9,748	4,942
その他	102,377	153,407
流動負債合計	112,125	158,349
固定負債		
その他	54,813	48,492
固定負債合計	54,813	48,492
負債合計	166,938	206,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,069,600	2,084,650
資本剰余金	2,059,600	2,074,650
利益剰余金	△1,287,880	△1,746,153
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,841,260	2,413,087
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,373	27,904
その他の包括利益累計額合計	27,373	27,904
新株予約権	19,276	24,723
純資産合計	2,887,910	2,465,715
負債純資産合計	3,054,849	2,672,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
事業収益		
研究開発事業収益	400,000	—
事業収益合計	400,000	—
事業費用		
研究開発費	86,724	182,504
販売費及び一般管理費	254,396	269,943
事業費用合計	341,120	452,447
営業利益又は営業損失(△)	58,879	△452,447
営業外収益		
受取利息	117	147
消費税差益	313	—
その他	51	17
営業外収益合計	481	165
営業外費用		
支払利息	—	2,061
支払手数料	3,024	3,024
株式交付費	14,273	240
支払報酬	25,641	—
為替差損	7,376	295
その他	1	—
営業外費用合計	50,318	5,621
経常利益又は経常損失(△)	9,042	△457,904
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,042	△457,904
法人税、住民税及び事業税	475	475
法人税等調整額	1	△106
法人税等合計	476	368
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	8,566	△458,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,566	△458,273

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	8,566	△458,273
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,214	531
その他の包括利益合計	2,214	531
四半期包括利益	10,780	△457,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,780	△457,741
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,042	△457,904
減価償却費	4,330	5,539
のれん償却額	35,000	35,000
受取利息	△117	△147
支払利息	—	2,061
支払手数料	3,024	3,024
為替差損益(△は益)	6,631	1,777
株式交付費	14,273	240
株式報酬費用	4,430	6,946
売上債権の増減額(△は増加)	—	532,251
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,321	△112,673
前渡金の増減額(△は増加)	△24,692	△54,264
前払費用の増減額(△は増加)	△43	4,659
未払金の増減額(△は減少)	10,030	27,707
未払費用の増減額(△は減少)	△18,464	19,998
前受金の増減額(△は減少)	—	32,000
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,296	△32,601
その他	4,306	△21,047
小計	65,370	△7,432
利息の受取額	117	147
利息の支払額	—	△2,061
法人税等の支払額	△950	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,538	△10,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,271	△14,961
無形固定資産の取得による支出	△2,279	△775
長期前払費用の取得による支出	△4,736	△8,738
その他	—	△2,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,286	△26,868
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,369,400	28,360
セール・アンド・リースバックによる収入	—	67,200
リース債務の返済による支出	—	△5,819
その他	△2,515	△3,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,366,884	86,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,519	△481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,396,617	49,068
現金及び現金同等物の期首残高	589,084	1,757,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,985,702	1,806,969

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

当社グループは、単一セグメント(医療製品事業)のため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

資金の借入

当社は、平成24年11月15日付の取締役会決議に基づき、株式会社三井住友銀行と契約極度額を5億円とする当座借越契約を締結し、平成24年12月7日付で3億円の借入を実行いたしました。また、株式会社みずほ銀行と貸越極度額を5億円とする当座貸越契約を締結し、平成24年12月6日付で2億円の借入を実行いたしました。詳細は、下記のとおりとなっております。

1. 資金用途	主に原材料の購入	主に原材料の購入
2. 借入先の名称	株式会社三井住友銀行	株式会社みずほ銀行
3. 借入金額	300,000千円	200,000千円
4. 利率	短期プライムレート (1.475%)	短期プライムレート (1.475%)
5. 借入期間	平成24年12月7日 ～平成25年10月31日	平成24年12月6日 ～平成25年12月5日
6. その他	当該契約に係る担保提供及び保証はありません。	当該契約に係る担保提供及び保証はありません。